

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-151961

(P2000-151961A)

(43)公開日 平成12年5月30日(2000.5.30)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード*(参考)
H 0 4 N 1/32		H 0 4 N 1/32	Z 5 C 0 7 3
H 0 4 L 12/54		H 0 4 M 11/00	3 0 3 5 C 0 7 5
12/58		H 0 4 N 1/21	5 K 0 3 0
H 0 4 M 11/00	3 0 3	H 0 4 L 11/20	1 0 1 C 5 K 1 0 1
H 0 4 N 1/21			9 A 0 0 1
審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 9 頁)			

(21)出願番号 特願平10-320271

(22)出願日 平成10年11月11日(1998.11.11)

(71)出願人 000006297

村田機械株式会社

京都府京都市南区吉祥院南落合町3番地

(72)発明者 平尾 英典

京都府京都市伏見区竹田向代町136番地

村田機械株式会社本社工场内

(74)代理人 100062144

弁理士 青山 葆 (外2名)

最終頁に続く

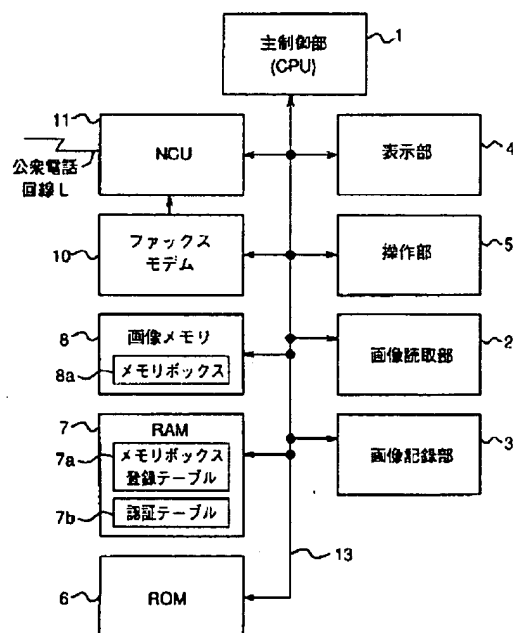
(54)【発明の名称】 通信端末装置

(57)【要約】

【課題】 メモリボックスを有する通信端末装置においてFコードの情報を予め登録せずに、Fコード機能の処理を実行することができる通信端末装置を提供する。

【解決手段】 相手先のファクシミリ装置からのFコードを用いたFコード機能の指示信号を受信したときに、Fコード内のサブアドレス(SUB)とパスワード(PWD)が一致するメモリボックスがあるか否かをメモリボックス登録テーブル7aで検索して未登録であるとき(ステップS19、S20でNO)に、メモリボックスを自動的に生成し、上記Fコードと、相手先のファクシミリ装置の識別情報である相手先の電話番号をメモリボックス登録テーブル7aに登録するとともに、受信した画像データを自動生成したメモリボックスに格納する(ステップS57又はS62)。

実施形態
ファクシミリ装置 20



【特許請求の範囲】

【請求項1】 サブアドレス信号又は選択ボーリング信号の情報を記憶する第1の記憶手段と、記憶された上記情報に対応して画像データを記憶するメモリボックスを備えた第2の記憶手段と、受信した上記情報が記憶されていないとき第1の記憶手段に記憶しかつ受信した画像データを、対応する第2の記憶手段のメモリボックスに記憶する制御手段とを備えたことを特徴とする通信端末装置。

【請求項2】 制御手段は、受信したパスワードと、受信した相手先の通信端末装置の識別情報のうちの少なくとも一方をさらに第1の記憶手段に記憶することを特徴とする請求項1記載の通信端末装置。

【請求項3】 制御手段は、受信した上記情報が記憶されていないとき、相手先が予め登録された相手先の場合のみ、受信した上記情報を第1の記憶手段に記憶しかつ受信した相手先の通信端末装置の識別情報を第1の記憶手段に記憶することを特徴とする請求項1又は2記載の通信端末装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、I T U-T勧告で規定されたファクシミリ手順信号（以下、Fコードという。）を用いて掲示板機能、親展機能、中継同報配信機能などを含む各種機能（以下、Fコード機能という。）を実行するファクシミリ装置などの通信端末装置に関する。

【0002】

【従来の技術】近年、I T U-T勧告で規定された、サブアドレス信号（SUB）、選択ボーリング信号（SEP）、パスワード信号（PWD）などのFコードを用いて掲示板機能、親展機能、中継同報配信機能などを含む各種のFコード機能を実行するファクシミリ装置が実用化されており、これにより、従来、非標準のファクシミリ信号を用いて上記の機能を実現していたファクシミリ装置に比較して各メーカーのファクシミリ装置間での上記の機能を実行でき、ファクシミリ装置の互換性を向上させることができる。

【0003】上記のFコード機能の実行のために、ファクシミリ装置の画像メモリに、選択ボーリング送信又は選択ボーリング受信するための掲示板用、親展用、及び中継同報配信用の画像データを格納するための領域として、複数のメモリボックスが番号を割り付けられた状態で設けられる。

【0004】選択ボーリングの掲示板機能では、相手先のファクシミリ装置から、例えば、選択ボーリング用の画像データが送信されてきたとき、その画像データが画像メモリの所定番号のメモリボックスに格納され、その後、当該ファクシミリ装置において、メモリボックス番号の指定及びパスワードの入力に基づき、指定された番

号のメモリボックスに格納されている画像データが印字出力される。また、例えば、相手先のファクシミリ装置から、選択ボーリング用のメモリボックス番号の指定及びパスワードのデータが送信されてきたときに、そのパスワードの認証に基づき、対応するメモリボックスの格納された画像データが相手先のファクシミリ装置に送信される。

【0005】また、親展機能においては、相手先のファクシミリ装置から親展用の画像データが送信されてきたとき、その親展用画像データが上記画像メモリの所定番号のメモリボックスに格納され、その後、当該ファクシミリ装置において、メモリボックス番号の指定及びパスワードの入力に基づき、指定された番号のメモリボックスに格納されている画像データが印字出力される。

【0006】さらに、中継同報配信機能においては、中継依頼元の相手先のファクシミリ装置から中継同報配信用の画像データが送信されてきたとき、その中継同報配信用画像データが上記画像メモリの所定番号のメモリボックスに格納され、その後、当該ファクシミリ装置から予め登録された複数の中継同報配信先のファクシミリ装置に順次送信される。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、メモリボックスを有するファクシミリ装置に対して別のファクシミリ装置からFコード機能を実行するとき、メモリボックスを有するファクシミリ装置においてサブアドレス（SUB）又は選択ボーリング（SEP）の情報及びパスワード（PWD）を予め登録しておかないと、Fコード機能の通信を行うことができないという問題点があった。

【0008】本発明の目的は以上の問題点を解決し、メモリボックスを有するファクシミリ装置などの通信端末装置においてサブアドレス（SUB）又は選択ボーリング（SEP）の情報及びパスワード（PWD）を予め登録せずに、Fコード機能の処理を実行することができる通信端末装置を提供することにある。

【0009】

【課題を解決するための手段】本発明に係る請求項1記載の通信端末装置は、サブアドレス信号又は選択ボーリング信号の情報を記憶する第1の記憶手段と、記憶された上記情報に対応して画像データを記憶するメモリボックスを備えた第2の記憶手段と、受信した上記情報が記憶されていないとき第1の記憶手段に記憶しかつ受信した画像データを、対応する第2の記憶手段のメモリボックスに記憶する制御手段とを備えたことを特徴とする。

【0010】また、請求項2記載の通信端末装置は、請求項1記載の通信端末装置において、制御手段は、受信したパスワードと、受信した相手先の通信端末装置の識別情報のうちの少なくとも一方をさらに第1の記憶手段に記憶することを特徴とする。

【0011】さらに、請求項3記載の通信端末装置は、請求項1又は2記載の通信端末装置において、制御手段は、受信した上記情報が記憶されていないとき、相手先が予め登録された相手先の場合のみ、受信した上記情報を第1の記憶手段に記憶しかつ受信した相手先の通信端末装置の識別情報を第1の記憶手段に記憶することを特徴とする。

【0012】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して本発明に係る実施形態について説明する。

【0013】＜実施形態＞図1は、本発明に係る実施形態である、メモリボックスの自動生成機能を有するファクシミリ装置20の構成を示すブロック図である。この実施形態のファクシミリ装置20は、メモリボックス番号毎に画像データを記憶する画像メモリ8を備え、図2に示すように、サブアドレス信号(SUB)又は選択ボーリング信号(SEP)の情報と、それに対応してFコード機能の処理機能の種類をRAM7内のメモリボックス登録テーブル7aに、メモリボックス8aのメモリボックス番号毎に記憶し、相手先のファクシミリ装置からのFコードを用いたFコード機能の指示信号にตอบสนองして、メモリボックス登録テーブル7aに記憶された処理機能を実行する。ここで、相手先のファクシミリ装置からのFコードを用いたFコード機能の指示信号を受信したときに、Fコード内のサブアドレス(SUB)とパスワード(PWD)が一致するメモリボックスがあるか否かをメモリボックス登録テーブル7aで検索し、未登録であるときに、メモリボックスを自動的に生成し、上記Fコードと、相手先のファクシミリ装置の識別情報である相手先の電話番号をメモリボックス登録テーブル7aに登録するとともに、受信した画像データを自動生成したメモリボックスに格納することを特徴としている。

【0014】図1において、ファクシミリ装置20は、従来のG3方式等のファクシミリ通信機能を備えるとともに、メモリボックスの自動生成機能を備えている。主制御部1は具体的にはCPUで構成されており、バス13を介して以下のハードウェア各部と接続されていてそれらを制御するほか、後述する種々のソフトウェアの機能を実行する。画像読取部2は、CCD等を利用したスキャナで原稿を読み取り、白黒2値に変換したドットイメージデータを出力する。画像記録部3は電子写真方式等のプリンタ装置であり、他のファクシミリ装置からファクシミリ通信により受信したイメージデータをハードコピーとしてプリントアウトして記録する。表示部4は、液晶表示装置(LCD)又はCRTディスプレイ等の表示装置であり、当該ファクシミリ装置20の動作状態を表示したり、送信すべき原稿のイメージデータ、及び受信したイメージデータの表示を行う。

【0015】操作部5は、当該ファクシミリ装置20を操作するために必要な文字キー、ダイヤル用テンキー、

短縮ダイヤルキー、ワンタッチダイヤルキー、及び各種のファンクションキー等を備える。なお、上述の表示部4をタッチパネル方式とすることにより、この操作部5の各種キーの内の一部又は全部を代用するように構成してもよい。

【0016】ROM6は、当該ファクシミリ装置20の動作に必要であって主制御部1によって実行される種々のソフトウェアのプログラムを予め格納し、ここで、当該プログラムは、少なくとも図4乃至図8の着信処理のプログラムを含む。RAM7は、SRAM又はフラッシュメモリ等で構成され、主制御部1のワーキングエリアとして使用されてプログラムの実行時に発生する一時的なデータを記憶するとともに、例えば、図2の形式を有するメモリボックス登録テーブル7aと、例えば、図3の形式を有しメモリボックスを自動的に登録することが許可された相手先の電話番号が予め格納された認証テーブル7bとを備える。なお、RAM7としてフラッシュメモリを使用した場合には、停電、装置の移動等のために電源が遮断された場合にもそのデータの内容が失われない。画像メモリ8はDRAM等で構成され、送信すべきイメージデータ又は受信したイメージデータを記憶し、ここで、Fコード機能用画像データを格納するためにメモリボックス番号毎に区分されたメモリボックス8aを備える。なお、RAM7及び画像メモリ8をハードディスクメモリで構成してもよい。

【0017】ファックスモデム10は、公衆電話回線Lに接続され、通常のファクシミリ通信用のファックスモデムの機能を有するモデムであり、FSK信号として受信される発信電話番号情報のデータを復調して主制御部1に出力する。NCU(ネットワーク制御回路: Network Control Unit)11はアナログの公衆電話回線Lの直流ループなどの閉結及び開放の動作を行いかつ自動ダイヤル機能を有するハードウェア回路であり、必要に応じてファックスモデム10を公衆電話回線Lに接続する。ここで、NCU11は、発信電話番号通知サービスにおけるID受信端末起動信号、通常の電話呼出信号の検出を行うとともに、必要に応じて発信電話番号通知サービスにおける1次応答信号及び2次応答信号を発信することができる。なお、NCU11を所定のターミナルアダプタ及びDSU(加入者線終端装置: Digital Service Unit)を介して、ベースバンド伝送方式のデジタル回線(例えば、ISDN回線)に接続するようにしてもよい。

【0018】以上のように構成された本実施形態のファクシミリ装置20は、通常のG3方式等のファクシミリ通信機能に加えて、メモリボックスの自動生成機能を有している。ファクシミリ通信機能において、画像読取部2により読み取られたドットイメージデータはファクシミリ通信の規格で定められているMH、MR、MMR等の符号化方式に従ってソフトウェアにより符号化された

後、相手先のファクシミリ装置に送信される一方、逆に相手先のファクシミリ装置から受信した符号化データもソフトウェアによりイメージデータに復号化されて画像記録部3からハードコピーとして出力される。なお、画像メモリ8はイメージデータを必要に応じて記憶し、また逆に記憶しているイメージデータを必要に応じて出力する。

【0019】図2は、図1のRAM7内のメモリボックス登録テーブル7aの一例を示す図である。図2から明らかなように、メモリボックス8aのメモリボックス番号毎に、相手先の電話番号又は名称、サブアドレス（SUB）又は選択ポーリング（SEP）の情報、パスワード（PWD）、Fコード機能の掲示板機能、親展機能、中継同報配信機能のうちの処理機能の種類、画像メモリ8内のメモリボックス8aにおけるメモリの開始アドレス（当該開始アドレスは、主制御部1により自動的に付与されて管理される。）が記憶される。ここで、当該メモリボックス登録テーブル7a内の相手先の電話番号又は名称の欄では、以下の入手可能な優先順位で以下の情報が格納される。

<優先順位1>発信者情報通知サービスで受信した相手先の名称。

<優先順位2>発信者情報通知サービスで受信した相手先の電話番号。

<優先順位3>NSS信号内の相手先の名称。

<優先順位4>TSI信号内の電話番号。

【0020】図3は、図1のRAM7内の認証テーブル7bの一例を示す図である。図3から明らかなように、メモリボックスが未登録であるときに、メモリボックスを自動生成してもよい相手先の電話番号が予め登録されて格納される。

【0021】図4乃至図8は、図1のファクシミリ装置の主制御部1によって実行される着信処理を示すフローチャートである。図4において、まず、ステップS1において16Hzの着信信号を検出したか否かが判断され、YESとなるまでステップS1の処理を繰り返し、YESのときに、ステップS2において16Hzの着信信号はメーク率が50%か否かが判断され、すなわち発信者情報通知サービスによる受信であるか否かが判断される。ステップS2でYESのときはステップS3に進む一方、NOのときはステップS7に進む。ステップS3において交換機との間で直流ループを形成して1次応答信号を送信し、ステップS4において発信電話番号情報を検出したか否かが判断される。ステップS4でYESのときはステップS5に進む一方、NOであるときはステップS7に進む。ステップS5において発信電話番号情報をRAM7内の一時メモリ（図示せず。）に格納し、ステップS6において直流ループを断として受信完了信号を送信した後、ステップS7において呼出信号を検出したか否かが判断され、ステップS8においてオフ

フックしたか否かが判断される。ステップS7及びS8ではYESとなるまでその処理が繰り返され、ともにYESのときは、ステップS9において交換機との間で直流ループを形成して2次応答信号を送信して図5のステップS11に進む。

【0022】図5のステップS11においてDCS信号を検出したか否かが判断され、次いで、ステップS12においてDTC信号を検出したか否かが判断される。ステップS11及びS12でともにNOであるときは、ステップS13においてDCN信号を送信した後、ステップS14において回線開放して当該着信処理を終了する。また、ステップS11でYESのときはステップS15に進み、ステップS12でYESのときは図6のステップS21に進む。

【0023】ステップS15においてNSS、TSI、SUB、PWD信号を受信してRAM7内の一時メモリに格納し、ステップS16においてSUB信号を検出したか否かが判断される。ステップS16でNOであるときは、ステップS17において相手先のファクシミリ装置から画像データを受信する通常のファクシミリ通信処理を実行した後、ステップS18において回線開放して当該着信処理を終了する。一方、ステップS16でYESのときは、ステップS19でメモリボックス登録テーブル7aにおいてサブアドレス（SUB）とパスワード（PWD）が一致するメモリボックスがあるか否かを検索し、メモリボックスがあるとき（ステップS20でYES）は図7のステップS31に進む一方、メモリボックスがないとき（ステップS20でNO）は図8のステップS51に進む。

【0024】図6のステップS21においてNSS、SIG、SEP、PWD信号を受信してRAM7内の一時メモリに格納し、ステップS22においてSUB信号を検出したか否かが判断され、NOであるときは、ステップS23において相手先のファクシミリ装置からのインデックス番号に対応する画像データを送信する所定のポーリング送信処理を実行した後、ステップS29で回線開放し、当該着信処理を終了する。一方、ステップS22でYESのときは、ステップS24においてメモリボックス登録テーブル7aにおいて選択ポーリング（SEP）の情報とパスワード（PWD）が一致するメモリボックスがあるか否かを検索し、ステップS25においてメモリボックスがあるか否かが判断され、次いで、ステップS26においてメモリボックスの機能は掲示板か否かが判断される。ここで、ステップS25又はS26でNOであるときは、ステップS27でDCN信号を送信した後、ステップS29で回線開放して当該着信処理を終了する。一方、ステップS25及びS26でともにYESであるときは、ステップS28において当該メモリボックスに格納された画像データを相手先のファクシミリ装置に送信する掲示板原稿の画像データ送信処理を実

行した後、ステップS29において回線開放して当該着信処理を終了する。

【0025】図7のステップS31においてメモリボックスの機能は掲示板か否かが判断され、次いで、ステップS32においてメモリボックスの機能は親展か否かが判断され、さらに、ステップS33においてメモリボックスの機能は中継同報配信か否かが判断される。ここで、ステップS31、S32及びS33でともにNOであるときは、ステップS34においてDCN信号を送信した後、ステップS39で回線開放して当該着信処理を終了する。一方、ステップS31でYESのときは、ステップS35において画像データを受信し、ステップS36において受信した画像データを対応するメモリボックスに掲示板画像データとして格納した後、ステップS37において同時印字モードが設定されているか否かが判断される。ここで、ステップS37でYESのときのみ、ステップS38において受信した画像データを印字した後、ステップS39において回線開放し、当該着信処理を終了する。また、ステップS32でYESのときは、ステップS40において画像データを受信し、ステップS41において受信した画像データを対応するメモリボックスに親展画像データとして格納した後、ステップS39において回線開放し、当該着信処理を終了する。さらに、ステップS33でYESのときは、ステップS42において画像データを受信し、ステップS43において回線開放した後、ステップS44において受信した画像データを予め登録されている各中継配信先に送信して当該着信処理を終了する。

【0026】図8のステップS51において操作部5の設定によりメモリボックス自動生成モードが予め設定されているか否かが判断され、ステップS52において、RAM7内の一時メモリに格納された発信者番号情報又は受信したTSI信号内の相手先の電話番号は、認証テーブルに登録されている相手先か否かが判断される。ここで、ステップS51又はS52でNOであるときは、メモリボックスを自動生成しない又はできないので、ステップS53でDCN信号を送信し、ステップS60で回線開放して当該着信処理を終了する。一方、ステップS51及びS52でともにYESのときは、ステップS54においてメモリボックス機能は掲示板か否かが判断され、次いで、ステップS55においてメモリボックス機能は親展か否かが判断される。ステップS54及びS55でともにNOであるときは、ステップS53でDCN信号を送信し、ステップS60で回線開放して当該着信処理を終了する。一方、ステップS54でYESのときは、ステップS56に進み、また、ステップS55でYESのときは、ステップS61に進む。

【0027】図8のステップS56では、画像データを受信し、ステップS57において掲示板のメモリボックスを画像メモリ8に自動生成して、受信した画像データ

を掲示板原稿として当該メモリボックスに格納する。ここで、自動生成したメモリボックスに対応した、相手先の電話番号又は名称、サブアドレス(SUB)、パスワード(PWD)、処理機能、及び画像メモリ8内の開始アドレスをメモリボックス登録テーブル7aに登録する。次いで、ステップS58において当該メモリボックスに格納した画像データを画像記録部3を用いて印字した後、ステップS59において掲示板のメモリボックスを自動生成した旨のレポートを画像記録部3を用いて印字し、ステップS60において回線開放して当該着信処理を終了する。

【0028】図8のステップS61では、画像データを受信し、ステップS62において親展のメモリボックスを画像メモリ8に自動生成して、受信した画像データを親展受信原稿として当該メモリボックスに格納する。ここで、ここで、自動生成したメモリボックスに対応した、相手先の電話番号又は名称、サブアドレス(SUB)、パスワード(PWD)、処理機能、及び画像メモリ8内の開始アドレスをメモリボックス登録テーブル7aに登録する。次いで、ステップS63において親展のメモリボックスを自動生成した旨のレポートを画像記録部3を用いて印字した後、ステップS60において回線開放して当該着信処理を終了する。

【0029】以上説明したように、本実施形態によれば、相手先のファクシミリ装置からのFコードを用いたFコード機能の指示信号を受信したときに、Fコード内のサブアドレス(SUB)とパスワード(PWD)が一致するメモリボックスがあるか否かをメモリボックス登録テーブル7aで検索して未登録であるとき(ステップS19、S20でNO)に、メモリボックスを自動的に生成し、上記Fコードと、相手先のファクシミリ装置の識別情報である相手先の電話番号をメモリボックス登録テーブル7aに登録するとともに、受信した画像データを自動生成したメモリボックスに格納する(ステップS57又はS62)。従って、メモリボックスを有するファクシミリ装置20において、メモリボックスの登録処理の手間を省くことができ、操作性を向上させることができる。

【0030】また、図8のステップS52では、RAM7内の一時メモリに格納された発信者番号情報又は受信したTSI信号内の相手先の電話番号は、認証テーブル7bに登録されている相手先か否かが判断されて、登録されているときのみ、メモリボックスを自動生成するので、メモリボックスの登録が許可された相手先のみが登録でき、メモリボックスの生成のセキュリティを向上させることができる。これにより、例えば、見知らぬ者が勝手にメモリボックスを自動生成することを防止することができる。

【0031】<変形例>以上の実施形態においては、ファクシミリ装置20の例について述べているが、本発明

はこれに限らず、公衆電話網又は公衆デジタル回線網などの公衆網に接続された、例えばデータ通信装置などを含む通信端末装置に適用することができる。

【0032】

【発明の効果】以上詳述したように本発明に係る請求項1記載の通信端末装置によれば、サブアドレス信号又は選択ポーリング信号の情報を記憶する第1の記憶手段と、記憶された上記情報に対応して画像データを記憶するメモリボックスを備えた第2の記憶手段と、受信した上記情報が記憶されていないとき第1の記憶手段に記憶

しかつ受信した画像データを、対応する第2の記憶手段のメモリボックスに記憶する制御手段とを備える。従って、メモリボックスを有するファクシミリ装置などの通信端末装置において、メモリボックスの登録処理の手間を省くことができ、操作性を向上させることができる。

【0033】また、請求項2記載の通信端末装置によれば、請求項1記載の通信端末装置において、制御手段は、受信したパスワードと、受信した相手先の通信端末装置の識別情報のうちの少なくとも一方をさらに第1の記憶手段に記憶する。従って、メモリボックスを有するファクシミリ装置などの通信端末装置において、受信したパスワードや受信した相手先の通信端末装置の識別情報を登録する手間を省くことができ、操作性を向上させることができる。

【0034】さらに、請求項3記載の通信端末装置によれば、請求項1又は2記載の通信端末装置において、制御手段は、受信した上記情報が記憶されていないとき、相手先が予め登録された相手先の場合のみ、受信した上記情報を第1の記憶手段に記憶しかつ受信した相手先の通信端末装置の識別情報を第1の記憶手段に記憶する。

従って、相手先が登録されているときのみ、メモリボックスを自動生成するので、メモリボックスの登録が許可された相手先のみが登録でき、メモリボックスの生成のセキュリティを向上させることができる。これにより、例えば、見知らぬ者が勝手にメモリボックスを自動生成することを防止することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明に係る実施形態である、メモリボックスの自動生成機能を有するファクシミリ装置20の構成を示すブロック図である。

【図2】 図1のRAM7内のメモリボックス登録テーブル7aの一例を示す図である。

【図3】 図1のRAM7内の認証テーブル7bの一例を示す図である。

【図4】 図1のファクシミリ装置の主制御部1によって実行される着信処理の第1の部分を示すフローチャートである。

【図5】 図1のファクシミリ装置の主制御部1によって実行される着信処理の第2の部分を示すフローチャートである。

【図6】 図1のファクシミリ装置の主制御部1によって実行される着信処理の第3の部分を示すフローチャートである。

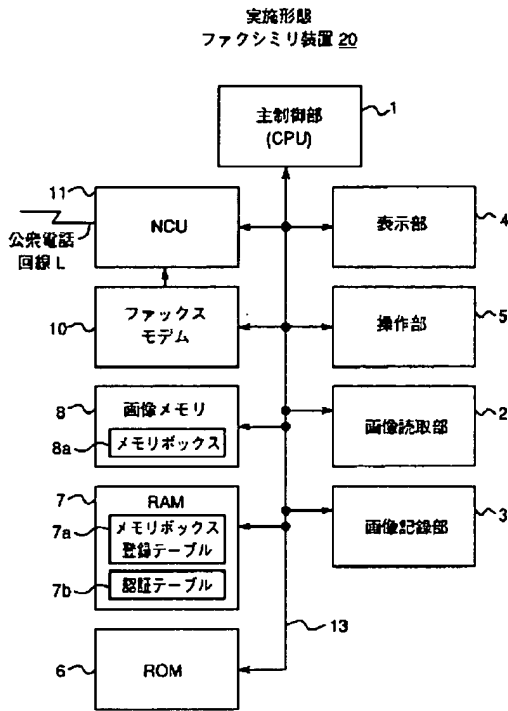
【図7】 図1のファクシミリ装置の主制御部1によって実行される着信処理の第4の部分を示すフローチャートである。

【図8】 図1のファクシミリ装置の主制御部1によって実行される着信処理の第5の部分を示すフローチャートである。

【符号の説明】

- 1…主制御部、
- 5…操作部、
- 6…ROM、
- 7…RAM、
- 7a…メモリボックス登録テーブル、
- 7b…認証テーブル、
- 8…画像メモリ、
- 8a…メモリボックス、
- 10…ファックスモデム、
- 11…NCU、
- 13…バス、
- 20…ファクシミリ装置、
- L…公衆電話回線。

【図1】

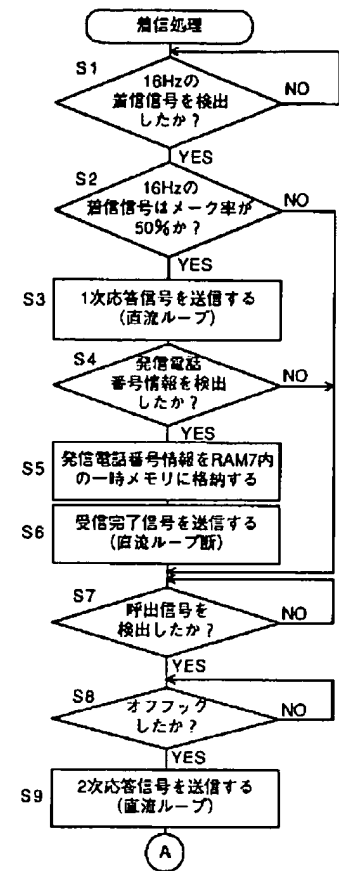


【図3】

認証テーブル 7b

登録許可の相手先の電話番号
0751234567
0781235678
0791236789
⋮

【図4】

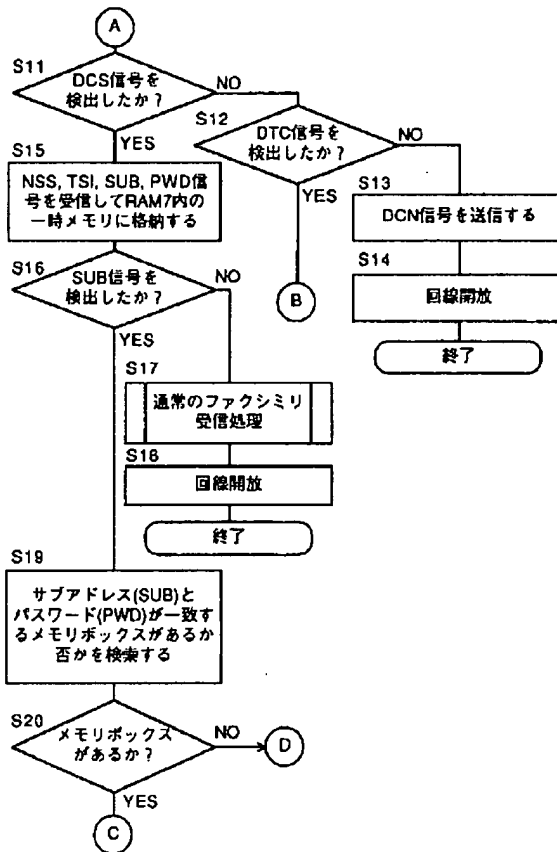


【図2】

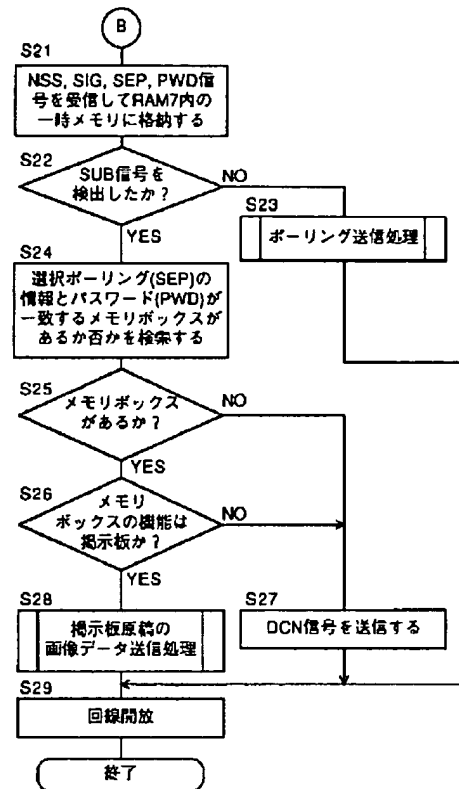
メモリボックス登録テーブル 7a

メモリボックス番号	相手先の電話番号又は名称	サブアドレス(SUB)又は選択ポーリング(SEP)	パスワード(PWD)	機能	開始アドレス
1	0751234567	111222333	12345	掲示板	0010
2	AAAカイシャ	222333444	23456	紙展	0030
3	0791236789	333444555	34567	中継同報配信	0070
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

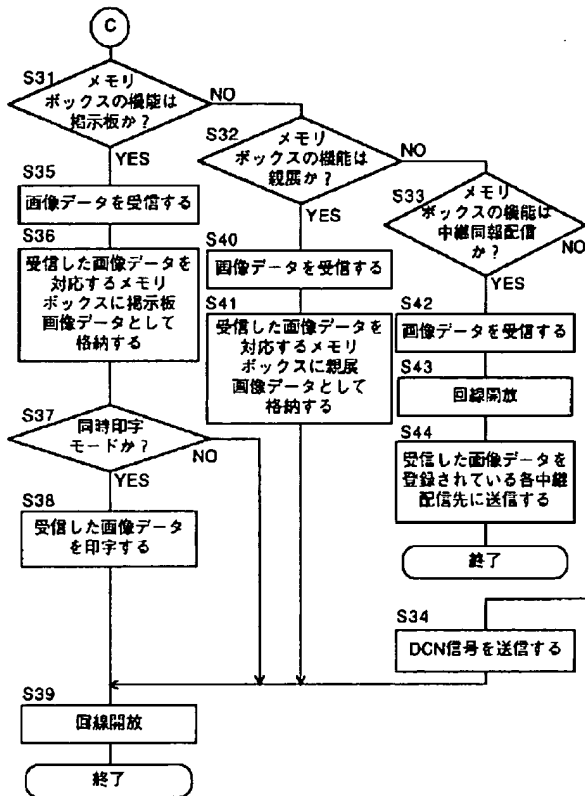
【図5】



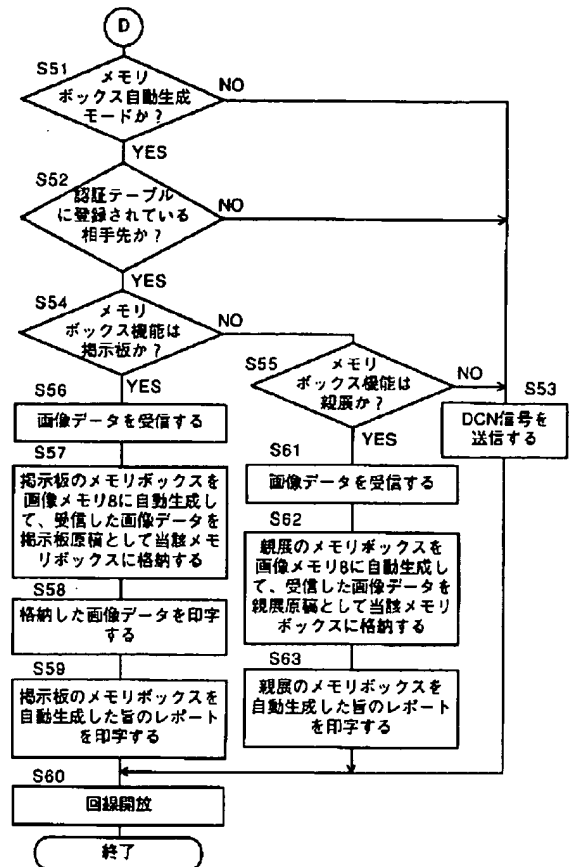
【図6】



【図7】



【図8】



フロントページの続き

Fターム(参考) 5C073 AA04 BA06 BB01 CD02 CD05
 CD23 CE10
 5C075 AA02 AB02 BB07 BB11 CA90
 CD07 CD22 DD04 EE02 EE06
 5K030 GA15 HA07 HB04 JT05 KA05
 KA06 LB12 LD19 MD10
 5K101 KK01 NN21 PP03 RR17 RR28
 9A001 CC06